

Nishitetsu Air Service
30th Anniversary Book

西鉄エアサービス 30周年記念誌



1990.12.25

北九州エアサービス株式会社設立

海上空港(新北九州空港)の計画が進むなか、開港までの暫定利用のために北九州空港の滑走路を延長。ジェット機対応空港となり、日本エアシステムが定期便の就航を表明した。1983年路線廃止となるまで業務実績のあった西日本鉄道に空港地上ハンドリング業務を依頼され、当社の前身である北九州エアサービス株式会社が誕生した。



〈提供:北九州エアターミナル(株)〉



1991.3.27

北九州空港にて JAS 業務受託開始

日本エアシステム(現・日本航空)の北九州-羽田線初就航により、地上業務開始。



1991.3.27

JAS 営業支店 市内カウンター業務開始

小倉北区の街なかにJASの営業支店があり、隣接しているホテル小倉東急インの1Fにて市内カウンター業務を開始。



1992.6.17

TB(販促用)クーポン開始

JASの販促用航空券を販売。従業員教育や待機時間の活用が主な目的であったが、表彰制度もあり、従業員のモチベーションアップにつながった。



1991.4.1

ビル管理・清掃業務開始

空港ハンドリング業務に加え、新たに空港ビルの館内清掃業務を開始(現在も継続中)。



1993.7.23

九州地区最優秀賞受賞

日本エアシステム主催の「JIM」(日本エアシステムマインド推進運動)九州地区サークル発表会で最優秀賞を受賞。

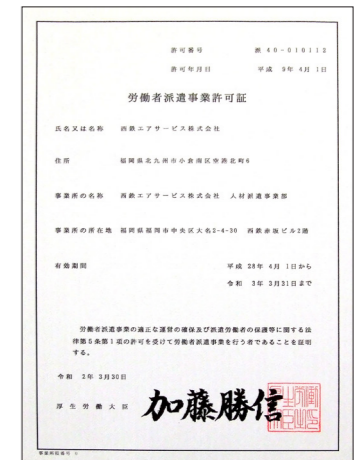


〈提供:西日本鉄道(株)〉

1997.2.1

人材派遣事業へ進出

本格的に人材派遣事業に進出するため、1997年2月福岡市に事務所を開設。西鉄グループでは初の一般派遣事業許可を受け4月1日に営業を開始した。



1996.9.1

夜間駐機(ナイトステイ)開始

天候不良による低い就航率の改善や日帰り出張に利用しやすいなど、北九州空港の利便性向上をめざし、ナイトステイを開始。



〈提供:北九州エアターミナル(株)〉

1990

12.25
北九州エアサービス(株)設立

1991

3.27
初便就航・業務受託開始
営業支店市内カウンター業務開始

JAS

4.1
ビル管理・清掃業務開始

1992

6.17
TB(販促用)クーポン開始

1993

7.23
九州地区サークル発表会
最優秀賞受賞

1995

9.1
携帯電話(PHS)販売業務開始

1996

9.1
夜間駐機開始(ナイトステイ)

1997

2.1
人材派遣事業へ進出

4.1
人材派遣営業開始

1998.4.1

JAS プリペイドクーポン販売開始

(2003.12.31終売)

航空業界の規制緩和により、多様な割引運賃設定が可能となり、自動発券可能な利便性の高いプリペイドクーポンの取り扱いを開始(TBクーポンは廃止)。



1998.4

福岡空港にて業務開始

福岡空港で中国南方航空(CZ)の貨物業務を受託開始。
(2003.1.31閉鎖)

福岡空港で中国南方航空の国際貨物業務受託を2名体制で開始しました。福岡-武漢經由桂林線のハンドリングで、輸入品はうなぎ、輸出品は機械部品などを取り扱っていました。その後、広州線も運航が開始。国際物流の最前線を経験できるやりがいのある業務でした。



1998年入社 黒岩 利行

1998.7.28

佐賀空港にて業務開始

佐賀空港の開港と同時に、JASのランプを除く地上ハンドリング業務を開始。(2001.8.31閉鎖)



〈提供:佐賀ターミナルビル(株)〉



Memory /

就航路線は、大阪/伊丹空港1日1便。総勢11名と少人数でのスタートで、半数以上が新入社員でした。新しいターミナルビルやカウンターと同様、フレッシュなメンバーでお客様をお迎えしました。短い教育期間でしたが、皆で協力して初便を定刻で出発させることができました。



1998年入社 吉森 美穂

1999.10

JAS 空港サービス評価全国1位

日本エアシステムが実施する空港サービス業績評価で、全国1位となる。



Memory /

お客様からの声をアンケートし、その結果を空港サービスの指標とする評価において、北九州空港が37空港中全国1位に輝きました。北九州空港は、日本でも有数の天候に左右される空港で、1日2便しか運航しない小規模空港でした。全体への目配り、部門を超えたチームワークなど小さい空港ならではの利点を生かすことができた結果だったと思います。この時はカウンターの中が笑顔と活気で満ち溢れ、お客様全員を楽しめるような空気が出ていて、「上位は間違いない!」と予感したのを覚えています。



1994年入社 江島 裕幸

2002.4.1

人材派遣事業部 北九州オフィス開設

人材派遣のニーズが高まり、北九州市の砂津にオフィスを開設。事務職のみならず製造業の派遣にも力を入れ、営業エリアを拡大。



(写真は2020年8月)

2002.8.1

JAS 初代 サービスマスター認定

日本エアシステムの知識、技能などを評価する制度で、当社社員が初代マスターに認定された(全国の空港職員の中からわずか4人)。

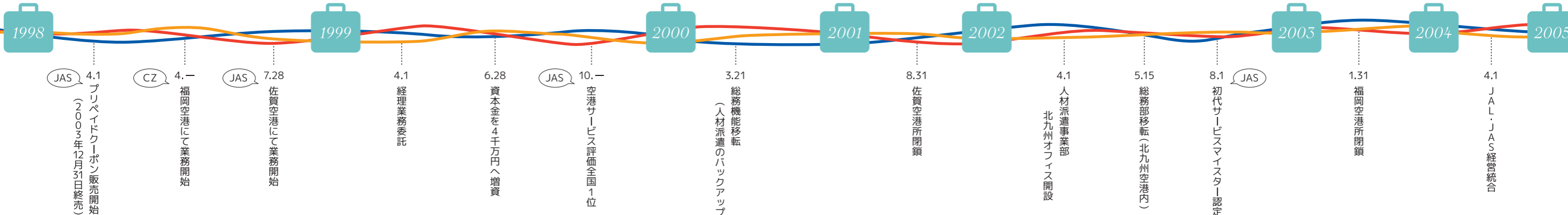


〈提供:西日本鉄道(株)〉

2004.4.1

JAL・JAS経営統合

2002年10月に経営統合された日本航空(JAL)と日本エアシステム(JAS)。2004年4月よりJASは日本航空ジャパンとして国内線事業を継承し、JAS便名での運航からJAL便名に統一された。



2006.3.16

新北九州空港開港と地上業務の拡大

小倉南区曾根にあった旧北九州空港から、海上空港へ移転。
同年8月22日からは、九州唯一の24時間空港として運用開始。

Memory /

私は、2006年1月16日に入社し、旧北九州空港で勤務を開始しました。搭降載業務の経験がなかったため、何をしていたのか全く分からない状態でのスタートだったにもかかわらず、わずか2か月後には新空港での勤務となりました。使用機材(航空機・GSE等)が変化したり、新規航空会社の就航により、戸惑いながら作業する毎日が続いたのを覚えています。また、旅客便に慣れた頃、ギャラクシーエアラインズの貨物専用便が始まり、さらに深夜運航で体力を消耗しました。これまで辞めずに続けられたのは、上司、先輩そして同僚の支えがあったからだと思っています。



2006年入社 橋本 翔



(写真は2020年11月)

Memory /

2006年3月16日 新北九州空港が開港し、小雨が降るなか、開港1番機のスターフライヤー72便を無事に出発させることができました。開港当時のSFJグラハンメンバーは開港数か月前に入社した業務未経験者が大多数で、SFJ実機訓練の機会が少ないなか、模擬訓練を重ね、いきなり本番に近い形で開港当日を迎えました。当時のあの一大イベントと一緒に成し遂げたメンバーが今もエアサービス各所で活躍し、頑張っていることが私の原動力の一つとなっています。



2005年入社 山崎 尚文



(提供:北九州市港湾空港局)

2006.10.31

GXY 定期貨物便 業務受託開始

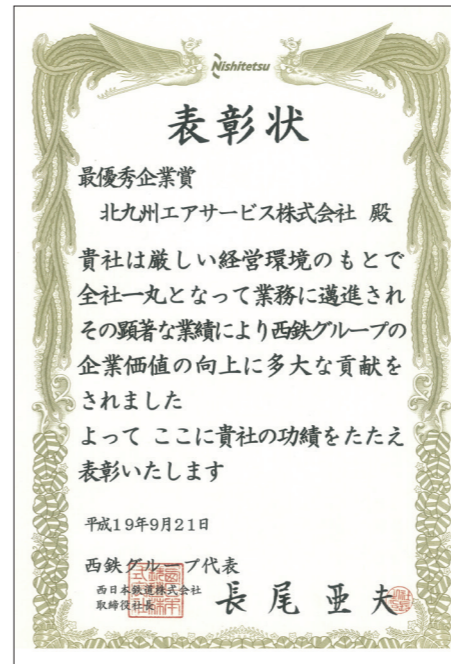
北九州空港から羽田空港への深夜貨物専用機(ギャラクシーエアラインズ)が週6往復就航。日本航空を経由して地上ハンドリング業務を行う。
(2008.10.6路線廃止)



2007.9.21

最優秀企業賞受賞

西鉄グループの企業価値向上に貢献し、成果を上げた企業として創立以来初の最優秀企業賞を受賞。



2007.3

アルコール検知器導入

業務で車両を運転する際に体内にアルコールが残っていないことを確認するため、アルコール検知器を導入。



(写真は2020年12月)

2008.7.1

SFJ 貨物業務受託開始

北九州空港にてスターフライヤーの貨物業務を開始。



2006

3.4 創立15周年記念式典

3.14 総務部移転

3.15 旧北九州空港での運航最終日

3.16 SFJ 新北九州空港開港に伴い地上業務の拡大

10.31 GXY 定期貨物便業務受託開始

2007

3.1 アルコール検知器導入

9.21 最優秀企業賞受賞

2008

7.1 SFJ 貨物業務受託開始

2009

2010.10.1

Nishitetsu Group 西鉄エアサービス株式会社

西鉄エアサービス株式会社へ社名変更

「西鉄」のブランド・信用力を活用した更なる事業の拡大とグループの一体感を培えるようにとの想いを込めて社名を変更。またランプのカバーオールも一新した。



2010.11.1

3空港(熊本、宮崎、山口宇部)展開

JALの新規業務受託で熊本空港(ランプ・貨物)、宮崎空港(航務・ランプ・貨物)、山口宇部空港(旅客・航務・ランプ)の業務を開始。短い準備期間だったが前受託会社との引継ぎを確実に実施し、新しい体制のもと受託を開始した。



(写真は2015年6月:宮崎)

2011.6.1

飲酒運転撲滅ステッカー作成

飲酒運転撲滅の取り組み強化として6月と11月を「飲酒運転撲滅強調月間」と定めた。



Memory /

山口宇部空港の受託会社に変更になることに伴い、当社へ入社しました。JAL便業務を行うという仕事の内容は変わらないものの、一緒に働くメンバーが変わったことで職場の雰囲気も変わりました。また、このタイミングで旅客業務の責任者に就くことになり、個人的にも大きな変化でしたが、不慣れた責任者である私を、新しい所長をはじめ周りの仲間がサポートしてくれました。所属する会社が変わるといふことに不安もありましたが、これからきっと成長する会社である西鉄エアサービスの一員になったことに、期待感は大きかったです。



2010年入社 福田 裕香里

2011.10.1

福岡空港所 SFJ 旅客業務受託開始

念願の福岡空港旅客業務受託は羽田1日5便からスタートした。(2015.3.31終了)



Memory /

受託開始当時は、ベルトコンベアの設置がなく、皆で手荷物を仕分場まで運んでいたため、保安検査場から1番遠い搭乗口の始発便を定刻に出発させることには、大変苦労しました。



2011年入社 水谷 友貴

2012.4.1

松山空港所 JAL 地上業務受託開始

日本航空の新規業務受託(旅客・航務・ランプ・貨物)を開始。



2012.8.21

ソフトボール大会 初優勝

西鉄グループの親睦ソフトボール大会で念願の初優勝。



Memory /

毎年決勝トーナメントまでは進出するものの、結果が残せず次第にそれだけで満足するようになっていました。そんななか、2010年の事業所拡大に伴い、選手層が急激に厚くなり、優勝の夢も現実にも近づきました。出場選手には年齢制限があり、選手層が厚くなるにつれ、レギュラー争いも激化していきました。2010年にキャプテンに任命され、声を出しチームをまとめることが私の役割だと思い、試合前の円陣では「元気があれば何でもできる!」を合言葉に、闘魂注入。応援とは思えないほど味方に対してプレッシャーをかけてくる応援団の力もあり、2012年に初優勝を飾りました。試合後、球場から表彰式会場へ向かう途中、監督兼選手の木津社長(当時部長)が、私の肩を軽くたたき、「よくやった」と声をかけてくれました。入社以来、木津社長に褒められたのは唯一その1回。2012年の初優勝と監督(社長)の言葉は、今でも最高の思い出です。



2006年入社 白井 正昌

2012.7.3

第二福岡空港所 JJP旅客業務受託開始

第二福岡空港所を設置し、ジェットスター・日本の業務受託を開始。



Memory /

ハンドリング準備を始めた頃は空港に事業所も無く、従業員6名で場所を転々としながら教育を開始しました。外国籍のインストラクターとの意思疎通やLCC特有のルールに合わせた空港調整は難航しましたが、就航当日は遅延が発生するなかでも無事に出発し、多くのお客様から励ましの言葉をいただきました。初便が出発した際は泣いて喜んだ事を覚えています。



2012年入社 野村 友香

2014.10.30

第2回 JAL グランドハンドリングコンテスト優勝

グランドハンドリングスタッフの技量を競うコンテストで優勝。



Memory /

2014年当時の私は搭降載などグラハン作業に自信がありませんでしたので、コンテストに参加することに躊躇いはありませんでした。ただそれまで人前で業務を行った経験が無く、大会関係者や役員の方、出場者など多くの方の前での作業に少し緊張しました。参加して社外の方の業務を見学したことや自分の力を試せたことは強い自信に繋がりました。また優勝できたことで、少しでも「西鉄エアサービス」を知ってもらえる機会になったことを嬉しく思いました。



2007年入社 島津 淳仁

2010

10.1 社名変更

11.1 3空港展開 (熊本、宮崎、山口宇部)

12.23 創立20周年祝賀式

2011

6.1 飲酒運転撲滅ステッカー作成

7.1 北九州空港所貨物業務再開

10.1 福岡空港所旅客業務受託開始

2012

4.1 JAL 松山空港所地上業務受託開始

7.3 JJP 第二福岡空港所旅客業務受託開始

8.21 ソフトボール大会初優勝

2013

11.1 従業員交流会発足

5.11 NCA 北九州空港所地上業務受託開始

6.11 JJP 松山空港所地上業務受託開始

2014

10.26 JJP 熊本空港所地上業務受託開始

10.30 JAL 第2回グランドハンドリングコンテスト優勝

2015.3.28

福岡空港所 初の国際線旅客業務受託開始

スターフライヤー国内線旅客ハンドリング業務が委託先変更により終了。
新たにチェジュ航空国際旅客ハンドリング業務を受託。



Memory /

国際旅客ハンドリング業務を受託した当初はノウハウが無かったのでとても苦労した記憶が残っています。特に、社員のほとんどが韓国語を話せず、お客様からの問い合わせが韓国語を話せる社員へ集中するという苦い思いがありましたので、便業務以外の時間は韓国語が話せる社員やチェジュ航空のスタッフに韓国語の勉強会を開催していただきました。少しずつですが言葉が理解できて話せるようになり、日々上達していく姿を見て頼もしく思いました。



1991年入社 島田 昭彦

2015.4.1

福岡空港所 JAL地上業務受託開始

福岡空港では当社初となる日本航空の貨物搬送業務を開始。



(写真は2020年12月)

Memory /

搬送業務開始当初は、JGS九州と共同での業務でしたので、事前に3か月間JGS社員の方に教育していただき、その作業内容を社員全員で確認しながら少しずつ業務に慣れていきました。北九州空港から異動してきた社員ばかりで、また福岡空港という幹線空港での業務は、北九州空港とは作業内容がまったく違う事ばかりでしたので、戸惑う面もありました。当時、福岡空港は大規模なセットバック工事が行われており、月毎に使用できないスポットが発生したり、車両通行帯の変更や出発や到着貨物の搬送ドレーンを仮置きする場所が使用できなくなったりと、苦労したことを覚えています。その複雑な環境のなかで安全かつ正確に搬送業務を行えるよう、日々、社員全員で手順の変更点などの情報共有を密に行い、業務を遂行していきました。



2007年入社 久保田 司

2015.12.25

国際線旅客スタッフオリジナル制服を作製

創立25周年事業の一環として、当社初の旅客カウンタースタッフ用の制服を作製。西鉄グループのコーポレートカラーであるブルーを基調とし、企業理念「あんしん」「かいてき」と「ときめき」をコンセプトにデザインされた。



2016.4.14・16

平成28年(2016年) 熊本地震発生

4月14日21時26分以降に熊本県と大分県で相次いで発生した地震。国内観測史上最大の震度7を観測した。

Memory /

14日の時点では大きな被害もなく15日は通常運航でしたが、16日には身の危険を感じるほどの本震が発生。空港内も被害を受け、一時閉鎖されました。19日の到着便より徐々に再開するも、危険を避けるため、お客様が館内を通過しないよう、徒歩での降機や屋外での手荷物返却となりました。度重なる余震で寝不足のうえ、落下物の危険に怯えながらの業務。「このようななか、大変ですね。」とお客様から優しいお声をいただいた時は、とても励まされました。



2013年入社 井手 麻里



※松山空港所からの激励



2016.6.1

北九州空港所 JAL バリュースコア (VS) 全国1位

お客様へのアンケート調査「バリュースコア 空港サービス部門」で北九州空港所が2015年度全国1位を受賞。

Memory /

当時北九州空港所の旅客ではJAL空港VS年間第1位を目標とし、サービス担当者が中心となって毎月テーマに沿った活動を行っていました。特に力を入れていたのがお客様の印象に残る接客をすることです。笑顔やお辞儀の練習、便終了後サービスについての振り返りを行ったり、お客様との接点のなかで自分たちにできることを考え実行することを徹底していました。VS結果が振るわない月もありましたが、諦めずに最後まで取り組みを継続した結果が目標達成に繋がったのだと思います。



2014年入社 石井 聡美

2016.12.15

山口宇部空港所 日露首脳会談の チャーター機のハンドリング業務

安倍首相の地元、山口県長門市で行われた日露首脳会談においてプーチン大統領を迎え、日露両政府のチャーター機のハンドリング業務を行った。



2015

3.28

福岡空港所
国際線旅客業務受託開始

SFJ 3.31

福岡空港所旅客業務受託終了

JAL 4.1

福岡空港所地上業務受託開始

12.25

創立25周年記念
国際線旅客スタッフ
オリジナル制服作製

2016

4.14・16

熊本地震発生

JAL 6.1

北九州空港所
バリュースコア全国1位

12.15

山口宇部空港所
日露両政府チャーター機業務

2017.4.1

福岡空港所 国際線地上業務受託開始

ジンエアー(LJ)のランプハンドリング業務を開始。

Memory /

ジンエアーのハンドリング業務を行うには必要な資格が多く、受託前に北九州空港で訓練を行い、資格を取得するなど要員確保に苦勞しました。当初のメンバーのなかには、ハンドリング未経験者も含まれていたもので皆でフォローしあいながら作業を行い、大きなトラブルもなく初便を出発させることができました。業務開始後間もない5月には急な臨時便があり、STEP車などの資格を取得しました。



2005年入社 島田 太一



2017.10.1

新千歳空港所 国際線旅客業務受託開始

当社初の北海道進出で、吉祥航空(HO)、海南航空(HU)の業務を開始。



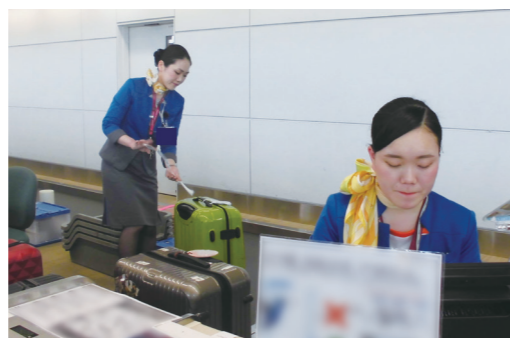
(提供:千歳市)

Memory /

私は開設準備担当として、冬の北海道での業務特性を経験するため1月よりJALスカイ札幌へ出向することになりました。雪によるイレギュラーがよく発生するイメージでしたが、実際には数えるほどしかイレギュラーは発生せず、積雪寒冷地の空港の対応力に驚きました。空港所開設に向けては、新入社員の教育・OJTを一日でも早く終わらせなければ業務が回らない状況であったため、厳しい指導であったと思いますが、誰一人として挫折することなく初便を迎えることができた時は感無量でした。



2014年入社 松本 隆弘



2018.6.5

北九州空港所 ANA Cargo 貨物便が就航

24時間運用の利点を生かして、ANA Cargoによる国際定期貨物便が就航。就航決定から初便まで非常に短期間で、ランプグループ、貨物担当者の教育を実施。



2018.6.6

佐賀空港所 SJO 地上業務受託開始

2001年以来、約17年ぶりに佐賀空港所を設置し、春秋航空日本の業務を開始した。



Memory /

春秋航空日本の業務受託は、当日まで実際の便での訓練ができず、机上でのシミュレーションのみだったので、当日は非常に緊張したハンドリングになりましたが、皆で協力して初便を定刻で出発させることができました。2020年3月までは、ランプ・オペレーションとともに他空港所からの支援をいただき、空港所運営を行っていました。



2010年入社 芥川 賢祐

2018.8.6

最優秀企業賞受賞

前年度の取り組みが、西鉄グループの企業価値向上に貢献し成果を上げたとして、2度目の最優秀企業賞を受賞。要員のマルチ運営体制を構築することで、今後のインバウンド需要を見越した国際線ハンドリング業務の受託に積極的に取り組むことが可能となり、新千歳空港の新規受託や他空港における新規・増便の業務を受託し、過去最高の売上を達成した。



2018.7.30

本社移転

北九州空港から福岡市博多区に本社を移転。北九州空港には北九州営業部を設置(8月1日)。福岡県外の佐賀・熊本・宮崎・山口宇部・松山・新千歳の6事業所への移動の利便性や福岡空港所の急速な業務拡大などを鑑み、16年ぶりに移転。



2018.9.6

平成30年 北海道胆振東部地震発生

9月6日3時7分に北海道胆振地区を震源とした地震が発生。最大震度7で、新千歳空港内は大きな被害を受けたが、9月8日には運航を再開した。



2017

4.1 福岡空港所 国際線地上業務受託開始

10.1 新千歳空港所 国際線旅客業務受託開始

12.25 コーポレートスローガンの制定

2018

6.5 北九州空港所 ANA Cargo 貨物便就航

6.6 佐賀空港所地上業務受託開始 (SJO)

7.30 本社移転

8.1 北九州営業部設置

8.6 最優秀企業賞受賞

9.6 北海道胆振東部地震発生

2019.4.1

福岡空港 民間委託により運営開始

福岡国際空港株式会社 (FIAC) により運営開始。当社からも2名出向。



(提供:福岡市)



2019.6.1

新千歳空港所 JJP旅客業務受託開始

他社からの移管で、ジェットスター・ジャパンの業務を開始。



2019.11.30

北九州空港所 大韓航空 (KE) 貨物便業務受託開始

チャーター便として就航実績のある大韓航空が定期貨物便を新たに就航。



2020.3.9~

新型コロナウイルス感染拡大による影響

新型コロナウイルス感染拡大の影響で国境閉鎖や移動制限措置による欠航、減便が相次いだ。



Memory /

福岡国際空港所においては、主に韓国・中国路線のハンドリングを行っており、この新型コロナウイルスの影響に伴う入国制限により2020年3月9日以降、全便就航を見合わせるという過去に例を見ない状況となりました。各航空会社においては就航の見通しが立たず、職員が休業せざるを得ないことになりましたが、人材派遣事業部との調整により多種にわたる業務に職員を派遣しました。2020年9月からは、日本への入国者における質問票の入力業務を検査所より受託することになり、業務を開始いたしました。2020年12月1日よりジンエアー、同年12月5日よりティーウェイ航空が、週1便ではありますが復便し、約9か月ぶりに本来の業務を行うことができました。まだ不安を抱えながらの日々ですがここを乗り越えるべく、今できることに対し正面から立ち向かう姿を心強く感じています。



2010年入社 外山 幸士郎

2020.5.11

北九州市へマスクを寄贈

新型コロナウイルス感染症の影響で物資が不足していることから、北九州営業部にて保管中のN95防護マスク3,200枚を北九州市へ無償提供。



2020.12.25

創立30周年・オリジナル制服をリニューアル

創立30周年を記念してオリジナル制服をリニューアル。(2021年3月27日より着用予定)



2020.4.1



コーポレートマークを制定

創立30周年を機にコーポレートマークを制定。社名の略称を「NishiAir」とし、記念ポスターも制作。



2019

4.1 福岡空港 民間委託により運営開始

JJP 6.1 新千歳空港所 旅客業務受託開始

KE 11.30 北九州空港所 貨物便業務受託開始

2020

3.9~ 新型コロナウイルス 感染拡大による影響

4.1 コーポレートマークを制定

5.11 北九州市へマスクを寄贈

12.25 創立30周年・オリジナル制服リニューアル



To be continued...